

院内にて 感染症対策継続中



新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、
当院では以下の対応を継続実施しています。

職員の体調チェック

万が一の感染の確認と、院内へのウイルスの持ち込み防止のため、毎朝の検温の徹底と**37℃以上の発熱がある場合は自宅待機**としています。



職員が感染しないために

職員の感染により、病院内で感染が拡大しないよう、以下の取り組みを徹底しています。

- ・マスクの着用
- ・手洗いの励行
- ・窓口でのゴーグル着用



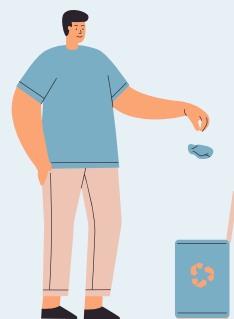
発熱患者さんへの診療

正面エントランス、各科窓口にて発熱症状のチェックを行っています。発熱等の症状がある方は、**他の患者さんとは別の場所**で診察を行っています。



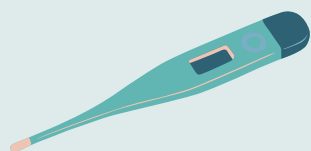
設備対策

- ・正面玄関の手指消毒液設置
- ・トイレでのエアータオル中止
- ・循環空調による24時間換気
- ・椅子、カウンターの除菌清掃



手術予定患者さんの検温

手術予定患者さんに対しては、**手術前2週間の検温**をお願いし、感染症状の有無を確認のうえ、手術を受けていただいています。



入院患者さんへの面会

面会時には以下のことをお願いしています。

- ・面会者2名までの人数制限
- ・短時間の面会
- ・マスク着用、
手指消毒の実施

